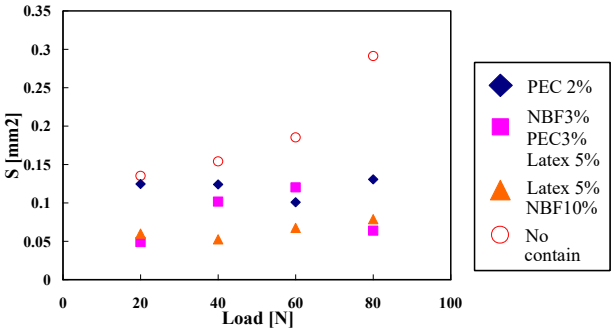
シーズ技術名

輸送中の傷発生防止効果を有するパルプモウルド緩衝材

ラテックス等添加剤の内添により改質したパルプモウルド

技術分野分類	2004：環境技術・環境材料
技術キーワード	C：省資源技術
産 業 分 類	E-14：パルプ・紙・紙加工品製造業

内容	概　要	パルプモウルドにラテックス、芯鞘繊維等を内添させて成型し、輸送中に製品との擦れによって発生する傷の防止効果を高めたパルプモウルド緩衝材。 通常のパルプモウルド緩衝材と比較して、傷の発生レベルを半減させることができた。
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	通常、パルプモウルドを内装材に用いた製品は傷発生を防ぐために厚手の樹脂製袋などで保護する必要があり、包装コスト上昇の原因になってしまう。
	本技術の有用性	この傷防止効果を有するパルプモウルド緩衝材を用いることで従来品より簡素な保護袋の使用が可能になり、包装コスト削減につながる。
関連情報（図・表・写真等）		
適用可能製品	包装用緩衝材・固定材など	
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	佐藤　幹彦 あいち産業科学技術総合センター　産業技術センター　環境材料室　主任研究員
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	あいち産業科学技術総合センター　産業技術センター 企画連携（総合技術支援・人材育成）担当 0566-45-5640　／　0566-22-8033 info@aichi-inst.jp

■知 的 財 産　なし

■試作品状況　無　提示可　提供可

作成日　2011 年 11 月 30 日

修正日　2022 年 11 月 30 日

あいち産業科学技術総合センター